

<16-07>
2016年3月

先生各位

検査内容変更及び受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび下記検査項目におきまして、検査内容の変更及び検査の受託中止をさせていただきますのでご案内申し上げます。

何卒ご高承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■検査内容変更項目および変更日:

●2016年3月28日(月)受付分より

項目コード	検査項目名
1467	PIVKA-II
206	寒冷凝集反応
2226	抗Scl-70抗体(FEIA)

●2016年4月1日(金)受付分より

項目コード	検査項目名
1201	アミノ酸分画<血漿>
1205	アミノ酸11分画<血漿>
3444	アミノ酸11分画<濾紙>
1222	ケトン体分画<静脈血>
333	オステオカルシン(OC)(BGP)
1040	カテコールアミン3分画<尿>
1042	遊離カテコールアミン3分画
1056	3-メキシ-4-ヒドロキシフェル エチンガリコール(MHPG)<尿>
1058	セロトニン<血液>
1171	セロトニン<血漿>
1090	17-ケトステロイド分画 (17-KS分画)3分画

項目コード	検査項目名
1147	17-ケトステロイド分画 (17-KS分画)7分画
1091	ステロイド10分画
1092	プレグナンジオール(P2)
1093	プレグナントリオール(P3)
1099	総エストロジェン・非妊婦
1258	エリスロポエチン(EPO)
1381	プロテインC活性
2277	プロテインS活性
1382	薬物スクリーニング
2091	エンドトキシン定量 A液
2092	エンドトキシン定量 B液

以上

※ 変更内容および受託中止等の詳細につきましては、次ページ以降をご覧ください。

■検査内容変更項目

コード	検査項目名	変更箇所	新	現
1201	アミノ酸分画<血漿> ※1	基準値 表記	フィッシャー比 : 2.31~4.29	フィッシャー比 : 2.3~4.3
1205	アミノ酸11分画<血漿> ※1		フィッシャー比 : 2.31~4.29	フィッシャー比 : 2.3~4.3
3444	アミノ酸11分画<濾紙> ※1		フィッシャー比 : 1.21~2.71	フィッシャー比 : 1.2~2.7
1222	ケトン体分画<静脈血>		総ケトン体 : 26~122 μ mol/L アセト酢酸 : 13~69 μ mol/L 3-ハイドロキシ酪酸 : 76 μ mol/L 以下	総ケトン体 : 26.0~122 μ mol/L アセト酢酸 : 13.0~69.0 μ mol/L 3-ハイドロキシ酪酸 : 76.0 μ mol/L 以下
1040	カテコールアミン3分画 <尿> ※2		A : 1.1~22.5 μ g/day NA : 29.2~118 μ g/day DA : 100~1,000 μ g/day	A : 1~23 μ g/day NA : 29~120 μ g/day DA : 100~1,000 μ g/day
1042	遊離カテコールアミン 3分画 ※2		A : 0.6~14.1 μ g/day NA : 9.7~41.4 μ g/day DA : 120~310 μ g/day	A : 1~14 μ g/day NA : 10~41 μ g/day DA : 120~310 μ g/day
1056	3-メキシ-4-ハイドロキシ フェニルエチルグリコール (MHPG)<尿>		total 0.22~1.83 mg/day	total 0.2~1.8 mg/day
1058	セロトニン<血液>		血液 : 52.8~200 ng/mL	血液 : 53~200 ng/mL
1171	セロトニン<血漿>		PRP : 623 ng/mL 以下	PRP : 620 ng/mL 以下
1090	17-ケトステロイド分画 (17-KS 分画)3分画		基準値の桁数の見直し(下表をご参照下さい)	
1147	17-ケトステロイド分画 (17-KS 分画)7分画		基準値の桁数の見直し(下表をご参照下さい)	
1091	ステロイド10分画		プレグナントリオロン M : 0.50 mg/day 以下 F : 0.50 mg/day 以下	プレグナントリオロン M : 0.5 mg/day 以下 F : 0.5 mg/day 以下
1092	プレグナンジオール (P2)		M : 0.12~0.93 mg/day F(卵胞期): 0.16~1.28 mg/day F(黄体期): 0.69~4.70 mg/day F(閉経後): 1.00 mg/day以下	M : 0.1~1.0 mg/day F(卵胞期): 0.2~1.3 mg/day F(黄体期): 0.7~4.7 mg/day F(閉経後): 1.0 mg/day以下
1093	プレグナントリオール (P3)		M : 0.25~1.48 mg/day F(卵胞期): 0.07~1.24 mg/day F(黄体期): 0.25~1.58 mg/day F(閉経後): 1.00 mg/day以下	M : 0.2~1.5 mg/day F(卵胞期): 0.1~1.3 mg/day F(黄体期): 0.2~1.6 mg/day F(閉経後): 1.0 mg/day以下

※1 フィッシャー比のみの変更で、その他の成分の基準値の変更はございません。

※2 A : アドレナリン、NA : ノルアドレナリン、DA : ドーパミン

17-ケトステロイド分画(17-KS分画)		新(mg/day)		現(mg/day)	
		男性	女性	男性	女性
3 分 画	アンドロステロン	1.12~4.71	0.22~2.78	1.1~4.8	0.2~2.8
	エチオコラノロン	0.43~3.23	0.10~2.39	0.4~3.3	0.1~2.4
	デハイドロエピアンドロステロン	2.92 以下	1.49 以下	3.0 以下	1.5 以下
7 分 画	11-ケトアンドロステロン	0.50 以下	0.48 以下	0.5 以下	0.5 以下
	11-ケトエチオコラノロン	0.08~0.63	0.62 以下	0.7 以下	0.7 以下
	11-ハイドロキシアンドロステロン	0.39~2.04	0.19~1.17	0.3~2.1	0.1~1.2
	11-ハイドロキシエチオコラノロン	0.54 以下	0.75 以下	0.6 以下	0.8 以下

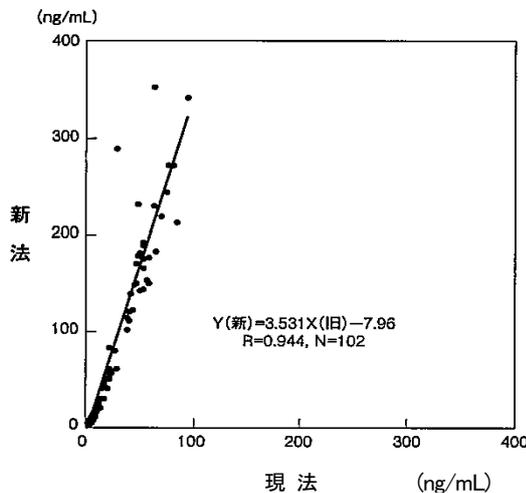
●オステオカルシン(BGP)

現行試薬の販売中止に伴い、測定試薬をNon-RIA試薬に変更させていただきます。

新試薬はインタクトオステオカルシンだけでなく、オステオカルシンの分解産物も認識するため測定値が高値化しますが、より正確に骨代謝回転状態を反映するため、病態をさらに明確に把握することが可能となります。なお、本変更に伴い、基準値を文献値に変更致します。

変更箇所	新	現
検査方法	FEIA	IRMA(ビーズ固相法)
基準値	8.3~32.7 (ng/mL)	3.1~12.7 (ng/mL)
報告下限	0.5 ng/mL 未満	1.0 ng/mL 未満
所要日数	2 ~ 5	4 ~ 7

<<新法と現法の相関>>



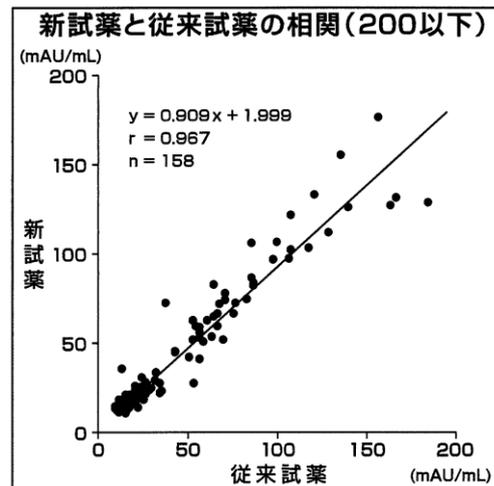
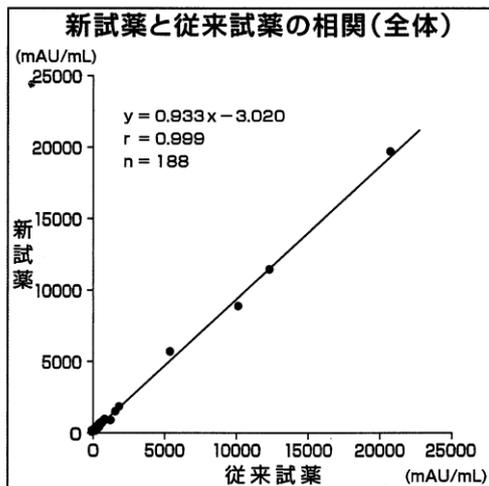
●PIVKA-II

測定精度の向上を期し、検査試薬を変更させていただきます。

なお、本変更に伴い、検査方法、報告範囲を変更致します。

変更箇所	新	従来
検査方法	CLIA	ECLIA
報告範囲	6 未満 ~ 999999	10 未満 ~ 75000 以上

<<新法と現法の相関>>

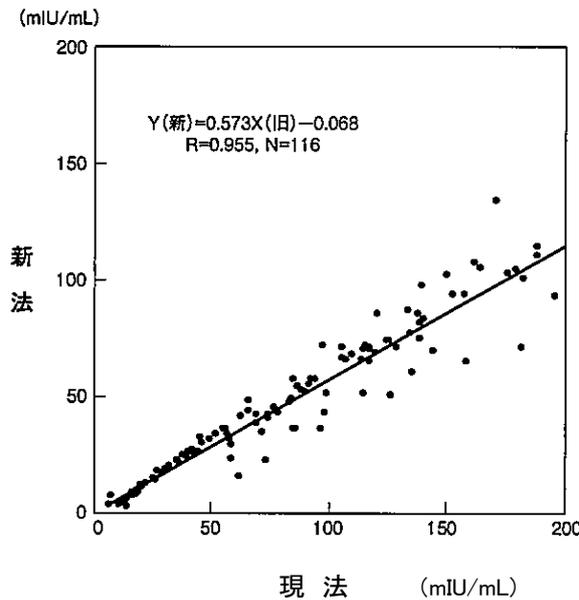


●エリスロポエチン(EPO)

現行試薬の販売中止に伴い、測定試薬をより高感度な測定試薬に変更させていただきます。
本変更に伴い、基準値を文献値に変更致します。

変更箇所	新	現
検査方法	CLEIA	RIA(二抗体法)
検体量	血清 0.7 mL	血清 0.5 mL
基準値	4.2~23.7 mIU/mL	9.1~32.8 mIU/mL
報告下限値	0.6 mIU/mL未満	4.0 mIU/mL未満
所要日数	2 ~ 3日	3 ~ 6日

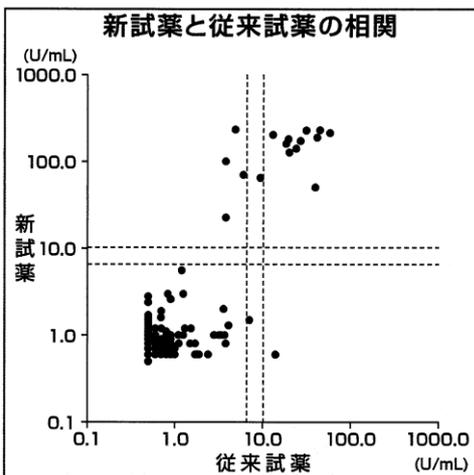
<<新法と現法の相関>>



●抗 Scl-70抗体 (FEIA)

従来試薬と同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。
本変更に伴い、報告範囲を変更致します。

変更箇所	新	従来
報告範囲	0.6未満 ~ 240以上	0.5未満 ~ 320以上



		従来			合計
		-	±	+	
新	+	4	1	11	16
	±	0	0	0	0
	-	213	1	1	215
合計		217	2	12	231

陽性一致率 91.7%
陰性一致率 98.2%
判定一致率 97.0%

●プロテインC活性 ●プロテインS活性

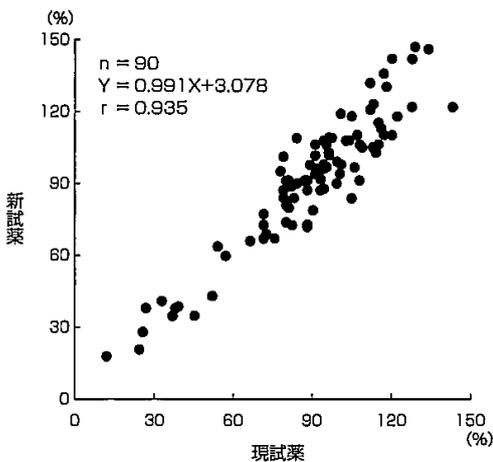
機器老朽化による測定機器および測定試薬を変更させていただきます。

プロテインC活性の基準値に変更はございません。プロテインS活性の新基準値はメーカー設定値です。

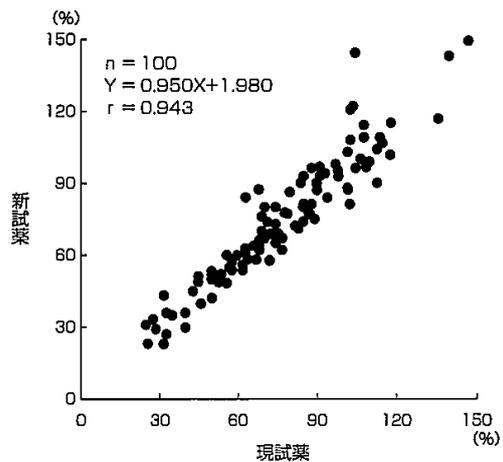
項目名	変更箇所	新	現
プロテインC活性	検査法 表記名称	凝固時間法	APTT凝固時間法
	検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.2mL
	報告範囲	10未満、10～299、 300以上	10以下、11～299、 300以上
プロテインS活性	検査法 表記名称	凝固時間法	APTT凝固時間法
	検体量	血漿 0.4mL	血漿 0.2mL
	基準値	M:67～164 F:56～126 (%)	60～150 (%)
	報告範囲	10未満、10～299、 300以上	10以下、11～299、 300以上

<<新法と現法の相関>>

プロテインC活性



プロテインS活性



●総エストロゲン・非妊婦

変更箇所	新	現
所要日数	8～20日	8～14日

※検査委託先による測定頻度の見直し

●寒冷凝集反応

変更箇所	新	現
基準値	64倍未満	32倍未満

※参考文献に準じた基準値への変更

●薬物スクリーニング

変更箇所	新	現
検査方法	GC-MS LC-MS/MS	GC-MS

※LC-MS/MS法の採用

(コカイン、ベンゾイルエクゴニン、THCカルボン酸体のみLC-MS/MS)

●エンドキシン定量 A液

変更箇所	新	現
報告下限	0.04 EU/mL 未満	0.001 EU/mL 未満

※報告上下限表記の適正化

A液は40倍希釈して測定します。

●エンドキシン定量 B液

変更箇所	新	現
報告下限	0.02 EU/mL 未満	0.001 EU/mL 未満

※報告上下限表記の適正化

B液は20倍希釈して測定します。

■検査受託中止項目および最終受託日:

●2016年 3月31日(木)受付分まで

項目コード	項目名	中止理由
114	酸ホスファターゼ(ACP)	受託僅少
106	前立腺酸ホスファターゼ(PACP)	受託僅少 実施料削除
1461	LCAT (レシチンコレステロール アシルトランスフェラーゼ)	測定試薬の販売中止
2962	GAT(癌関連ガラクトース転移酵素)	測定試薬の販売中止
221	LE因子(抗核抗体ラテックス法)	測定試薬の販売中止